

## 2020 年度 生命の起源および進化学会 総会議事

### 1. 2020-2021 年度 運営委員選挙結果

2020 年 2-3 月に実施されました運営委員選挙の結果、運営委員に以下の会員が選出されました。

木賀大介、三田肇、藪田ひかる、横堀伸一、田近英一、井田茂、田村浩二、田村元秀、川村邦男、癸生川陽子

### 2. 2020-2021 年度 運営委員長・会長について

運営委員の互選より、藪田ひかるの会員（広島大学）が選出されました。

### 3. 2020-2021 年度 運営委員と運営体制について

新運営委員長により、運営委員会に運営体制の刷新（下記）が提案され、承認されるとともに、運営委員長指名の運営委員が加わり、新運営委員会は次の方により運営されることになりました。

赤沼哲史（早稲田大学）、泉雄大（広島大学）、井田茂（東京工業大学）、掛川武（東北大学）、川村邦男（広島修道大学）、木賀大介（早稲田大学）、黒澤耕介（千葉工業大学）、癸生川陽子（横浜国立大学）、小池みずほ（広島大学）、田近英一（東京大学）、田村浩二（東京理科大学）、田村元秀（東京大学）、藤井悠里（名古屋大学）、古川善博（東北大学）、三田肇（福岡工業大学）、胸組虎胤（鳴門教育大学）、藪田ひかる（広島大学）、横堀伸一（東京薬科大学）

会長：藪田 ひかる

\* 副会長：井田 茂，木賀 大介

事務局：小池みずほ，三田 肇

会計：古川 善博，横堀 伸一

編集：癸生川 陽子，田村 浩二

\* 企画：赤沼 哲史，黒澤 耕介

\* 広報：泉 雄大，藤井 悠里

\* 顧問：胸組 虎胤

\* 授賞選考：  
川村 邦男，田近 英一，新委員

\* 国際交流：  
井田 茂，新委員

\* 将来計画・人材育成：  
木賀 大介，田村 元秀，  
掛川 武，藪田 ひかる

### 4. 会則（本文ならびに生命の起源および進化学会役員名簿）の変更

運営委員・事務局などの所在地の変更に伴う会則改定です。朱字部分が新規分です。

## 生命の起原および進化学会学会会則

### 目的

地球上および宇宙における生命の起原を科学的に解明することと、生物進化の攻究により、生命体の本質を明らかにしようとする。本会は、関係諸分野の英知を集め、互いの連携によって新しい型の総合科学を確立・発展させることにより、上記の目的達成を期するものである。

第1条 本学会は、生命の起原および進化学会（The Society for the Study of the Origin and Evolution of Life : Astrobiology-Japan, SSOEL: Astrobiology-Japan）という。

第2条 本学会は、会員の生命の起原および進化の研究の発展と、日本における当該研究の開発・推進をはかり、関連学（協）会および、多くの人々の当該研究に対する理解を深め、もって学術・文化の発展に寄与するものとする。

第3条 本学会は、前条の目的達成のため次の事業をおこなう。

1. 研究発表会・学術講演会の開催
2. 学会誌等の出版物の刊行
3. その他前条の目的達成のため必要な事業

第4条 本学会の所在地を次に定める。

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学大学院理学研究科知見環境科学科・地学専攻

第4条の2 前条の事業をおこなうための事務局を次に置く。

〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科地球惑星システム学プログラム

第5条 本学会の会員は、正会員と賛助会員とし、入会手続きは別途定める。

第5条の2 正会員は、第2条に示す研究に従事する個人で、学会が承認したものとする。

第5条の3 賛助会員は、本学会の目的に賛同し、その事業を援助する個人または団体が学会が承認したものとする。

第6条 会員は、別途定められた会費等の費用を前納しなければならない。定められた期間以上これらを滞納した場合は、会員の資格は消失するものとする。

第7条 会員は、本学会のおこなう事業に参加し、学術講演会で発表し、本学会発刊の学会誌 **Viva Origino** その他を受け取ることができる。

第8条 本学会は、会長1名、副会長1-2名および学会運営委員（以下委員と略す）を若干名、会計監査2名おくものとする。

第9条 委員および会計監査は、正会員の互選による。選出された委員は学会運営委員会（以下委員会と略す）を構成し、学会運営の任にあたる。

第10条 会長・副会長は委員会が正会員の中から選出する。

第11条 会長・副会長・委員・会計監査の任期は2年とする。

第12条 委員会は、学会運営および学会事業をおこなうため、委員長1名、常任委員若干名を選出し、学会常任委員会（以下常任委員会と略す）を構成し、その任にあたらせるものとする。

第13条 会長は学会を代表し、学会運営は委員長が総括の任にあたる。

第13条の2 常任委員のうち一名を会計責任者とし、預貯金通帳の管理、会費の徴収、支出行為を担当し、1年に1回、会計監査の監査を受けるものとする。

第13条の3 常任委員のうち一名を事務責任者とし、会長印および運営委員長印の管理、会員名簿の管理を担当する。

第13条の4 常任委員のうち一名を編集責任者とし、学会誌 **Viva Origino** の編集を担当し、学会誌の発行責任者となる。

第13条の5 会長、委員長、委員、会計監査、常任委員、選挙管理委員ならびに会計責任者、事務責任者、編集責任者とその所在地は、別に定める本学会役員名簿の中に記載する。

第14条 常任委員会は、必要などき委員会を招集し、本学会に関する諸事項を審議・決定する。

第15条 常任委員会は、正会員の中から専門委員を委嘱し、本学会に関する諸事項を諮問することができる。

第16条 委員会において、本学会員として不適当と決議されたものは、会員の資格を消失するものとする。

- る。
- 第17条 会員の退会届け者および会員資格消失者については、常任委員会は退会手続きをとるものとする。
- 第18条 本学会は、年1回定期総会を開き、必要なときは臨時総会を開くものとする。なお、総会は年会費を完納している正会員の1/10以上の出席をもって、成立するものとする。
- 第19条 本学会会則の改正は、正会員の総会において出席者の2/3以上の同意を要する。
- 附則 本学会の設立日は昭和50年3月20日とする。  
この規約は、2020年8月x日より施行する。

#### 生命の起原および進化学会役員名簿

1. 会長、委員長、委員、会計監査、常任委員ならびに会計責任者、事務責任者、編集責任者とその所在地を以下に定める。
2. この役員名簿の改正は、総会において出席者の1/2以上の同意を要する。但し、担当者の異動に伴う場合の修正については、運営委員会の承認によるものとする。

会長・運営委員長 藪田 ひかる

#### 常任委員

事務責任者（事務局） 小池 みずほ

広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科地球惑星システム学プログラム

会計責任者（本部）古川 善博

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学大学院理学研究科知見環境科学科・地学専攻？

編集責任者 癸生川 陽子

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学大学院工学研究院

#### 運営委員

赤沼哲史（早稲田大学）、泉雄大（広島大学）、井田茂（東京工業大学）、掛川武（東北大学）、川村邦男（広島修道大学）、木賀大介（早稲田大学）、黒澤耕介（千葉工業大学）、癸生川陽子（横浜国立大学）、小池みずほ（広島大学）、田近英一（東京大学）、田村浩二（東京理科大学）、田村元秀（東京大学）、藤井悠里（名古屋大学）、古川善博（東北大学）、三田肇（福岡工業大学）、胸組虎胤（鳴門教育大学）、藪田ひかる（広島大学）、横堀伸一（東京薬科大学）

#### 会計監査

未定

#### 選挙管理委員

未定

この名簿は、2020年8月x日より発効する。

## 5. 2019年度会務報告

### あ) 会員異動

正会員数 126名（内：学生会員 7名）

### 異動内容（2019年度）

白水まどか 学生 福岡工大

市村武美 BIO-IT 研究開発機構

### い) 会計報告

通常は学術講演会の場で資料を持ち込み監査を受けますが、今回は、監査を終えることができていません。また、2020年度に学会運営体制を刷新することになり、会計計画が決ま

っておりません。まことに申し訳ありませんが、2020年会務報告とともに、会計報告をさせていただきます。

う) 編集報告

2019年の掲載論文について

Viva Origino, 47(1) 2019

初期火星のハビタビリティ

菊池早希子, 渋谷岳造

Viva Origino, 47(2) 2019

前生物的な化学反応の解明

小松 勇

Viva Origino, 47(3) 2019

隕石/彗星がもたらした初期地球化学進化

鈴木 大輝

Viva Origino, 47(4) 2019

たんぽぽミッションでの機械式温度計による宇宙環境温度測定

橋本 博文、今井 栄一、矢野 創、横堀 伸一、山岸 明彦

種々のルールの明確化

え) 会員管理

入退会時の事務局・運営委員会での手続きを確認した。

入退会時には、運営委員会の承認を受けることになりました。

学生会員は、証明書（指導教員のメール、在学証明書、学生証のコピー）を添えることとし、

現在の学年を申告してもらい、その標準修了年限まで学生扱いとし、その後は正会員とします。さらに進学した場合は、改めて証明書を提出した場合に学生会員とします。

原則3年会費を支払わなかった場合に除籍（再入会は可能）とします。

お) 入会のメリットの明確化<19年3月総会で承認事項の再確認>

学術講演会での一般発表を会員（当該年度の会費を支払った者）に限定するとともに、学術講演会参加費で会員/非会員に差をつけるます。学術講演会の要旨は会員限定公開とします。

か) 学術講演会

2020年度は2020年9月28-30日に、東北大（委員長：古川）での開催を予定していましたが、現在、実施の可否・形態など検討中です

き) アストロバイオロジーネットワークメーリングリスト

アストロバイオロジーネットワークとの本会の統合に伴い、アストロバイオロジーネットワーク ML の事務を本会で実施することになりました。

く) 外部への業務委託の検討

これまで、WEB 管理・Viva Origino の編集補助を行っていただいていた方が退任されることもあり、WEB ページの刷新、編集業務など一部業務を外部委託することにします。

## 6. 2020 年度会務計画

学会の刷新を目指して、運営委員会の体性が大きく変わることにになりましたので、改めて詳細はお知らせいたします。